

「新薬へのスイッチの実態が後発医薬品推進政策へ及ぼす影響を評価する研究」
実施に関するお知らせ

(独)国立病院機構本部総合研究センター診療情報分析部では、患者の皆様を提供する医療の質の向上を目的として、(独)国立病院機構に属する各病院の電子カルテ等診療情報を活用した分析研究を実施することとなりました。本研究の内容は以下の通りになります。

1. 研究の目的

効率のよいジェネリック医薬品推進策を提案し、医薬品費の抑制により国民医療費の効率化に寄与することを目的としています。

2. 研究の概要

2010年4月1日～2018年3月31日までの期間に入院された患者の皆様の診療情報が本研究の対象となります。診療情報は、医療行為やケアの内容、さらには臨床データなど電子カルテに記録保存されたデータ、診療情報明細書や「DPC導入の影響評価に関する調査」に提出しているデータを二次利用させて頂くこととなります。

本研究は、日常診療から集積された既存の診療情報を利用するものであり、新たに患者の皆様は何らかの負担が生じることはありませんので、ご安心ください。

3. 個人情報の保護について

本研究で利用させて頂く個人情報は、患者の皆様個人が直接特定できない匿名化情報として加工し厳重に管理・保護いたします。プライバシーに係わる個人情報が外部に漏洩する事は一切ございません。

なお、本研究の成果に関しては、患者・国民の皆様や外部組織への公表、医薬学的な学会での発表や専門的な雑誌での報告を行うことがあります。集団を記述した数値データとし、患者の皆様個人が同定されるデータを公表することは一切ございません。

4. 問い合わせ先

本研究についてご質問等がある場合、ご自身の情報を本研究に利用することにご了承頂けない場合、その他ご意見がある場合などがございましたら、下記窓口までご連絡ください。その場合においても、皆様の病院サービスご利用について不利益が生じることは全くございません。

問い合わせ窓口

〒152-8621 東京都目黒区東が丘 2-5-21

国立病院機構本部 総合研究センター診療情報分析部 今井志乃ぶ

TEL : 03-5712-5133

Ver.1 2016年5月23日